

【 診療科: 婦人科 】
 【 レジメン登録番号: GY-42 】

〈 Pembrolizumab+TC±Bevacizumab療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)													
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21		
キイトルーダ	200mg/body	div	○													
アバスチン	15mg/kg	div	○													
パクリタキセル	175mg/m ²	div	○													
カルボプラチン	AUC:5	div	○													

【1コース期間: 21日】 【総コース数: 6コース】

【適応癌種: 子宮頸癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

【1～6コース】〈day1〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	キイトルーダ 200mg	div(30分で)
	生理食塩液 100mL	
Rp.2	生理食塩液 50mL	div(10分で)
Rp.3	アバスチン 15mg/kg	div(初回90分、2回目60分、3回目以降30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	H ₂ Blocker 1A	div(10分で)
	デキサート 19.8mg	
	ポラミン 5mg	
Rp.5	生理食塩水 50mL	div(30分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
Rp.6	パクリタキセル 175mg/m ²	div(180分で)
	5%ブドウ糖 500mL	
Rp.7	カルボプラチン AUC:5	div(60分で)
	5%ブドウ糖 250mL	

【6コース以降】〈day1〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	キイトルーダ 200mg	div(30分で)
	生理食塩液 100mL	
Rp.2	生理食塩液 50mL	div(10分で)
Rp.3	アバスチン 15mg/kg	div(初回90分、2回目60分、3回目以降30分で)
	生理食塩水 100mL	

【参考文献: N Engl J Med 2021;385: 1856-1867、キイトルーダ添付文書】

【変法情報: イメンド(アプレピタント)使用時は、デキサートの投与量を 9.9mg/回に半減する。】

【備考: 6コース終了後はキイトルーダ±アバスチンのみ継続。】